

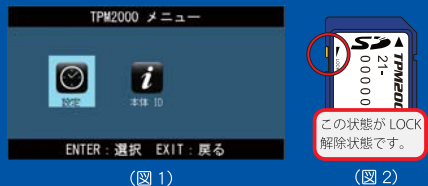
TPM2000

重要

ご使用前に必ずお読み下さい。出荷時に診断ソフトはインストールされていません。登録とアップデートを行ってから、診断を行ってください。








注意

- ・メインメニューで「診断」アイコンが表示されない場合は、TPM2000 に診断ソフトがインストールされていない状態です。本書を参考にユーザー登録とアップデートを行って、最新の状態で診断を行ってください。(図1)
- ・診断やアップデートする際はSDカードのLOCKスイッチを解除してご使用ください。(図2)
- ・TPM2000 アップデートプログラムは Windows XP 以降でご使用ください。
- ・XP 以前の OS では対応していません。



TPM2000 パッキングリスト

この製品には以下の内容が含まれています。

			
TPM2000 本体	OBD-II ケーブル	シガーライターケーブル	キャリングケース
			
SD カード	SD カードリーダー	クイックマニュアル	

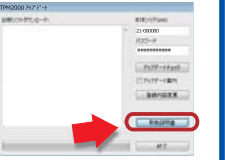
注意 パッキングリスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

取扱説明書のダウンロード

取扱説明書は PDF ファイルでダウンロードして閲覧するようになっております。


Step1

「TPM2000アップデート」が起動した状態で、「取扱説明書」をクリックします。



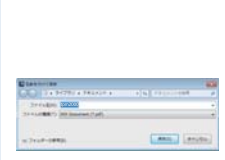
Step2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。




Step3

ダウンロードが完了すると、保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存してください。



Step4

保存した場所に先ほどダウンロードしたファイルがありますので、ダブルクリック(又は右クリック・開く)で表示させます。

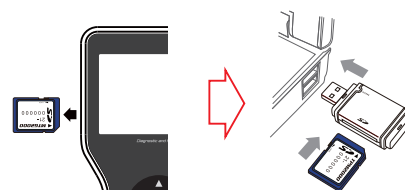


注意 取扱説明書を保存できない場合は、保存場所を変えて保存してください。
うまく表示出来ない場合は、Adobe(R) READER(R) 最新のバージョンにしてご覧ください。

ユーザー登録

Step1

TPM2000 本体よりSDカードを抜き取ります。取り外したSDカードを付属のカードリーダーでパソコンに接続します。



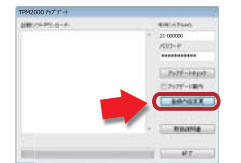
Step2

パソコンがSDカードを認識すると自動再生メニューが表示されます。ここで「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。また、自動再生がこれに表示されない場合は、手動で、「マイコンピュータ」>「リムーバブルディスク」で表示させ、SDカード内にある「tpm2000.exe」(アプリケーション)を実行してください。



Step3

「TPM2000アップデート」が起動しますので、「登録内容変更」ボタンをクリックします。



※「再試行して下さい」などのエラーが表示された場合は「アップデートチェック」をクリックしてください。

Step4

「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力し、「送信」ボタンをクリックします。



ユーザー登録の入力欄は必ず全て埋めてください。未入力があると送信できません。

Step5

ユーザー登録が送信されると、下のメッセージが表示されます。この後、入力したメールアドレスのメールを確認します。



Step6

メールを確認してください。「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。メールを開いて、内容にあるリンクをクリックしてください。

登録認証確認

下記リンクをクリックすると認証が完了します。

<http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=33>

Step7

メールのリンクをクリックすると、ご使用のブラウザで認証完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。(アップデート期間は登録日より1年間です。)



注意

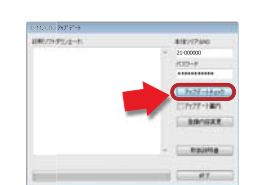
- ・SDカードにはLOCKスイッチがついています。必ずLOCKを解除して作業を行ってください。セキュリティソフトによっては「tpm2000.exe」ファイルを隔離や通信をブロックする場合があります。その場合はセキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。
- ・メールが届かない場合はメールアドレスの間違いや「迷惑メールフォルダ」などを確認してください。
- ・アップデート期間が表示されない場合は「登録受付メール」をもう一度確認してください。ユーザー登録で送信した回数分「登録受付メール」が配信されますので、最新の「登録受付メール」のリンクをクリックして下さい。

アップデート

SDカードの接続は「ユーザー登録」の[Step1],[Step2]を参考にしてください。

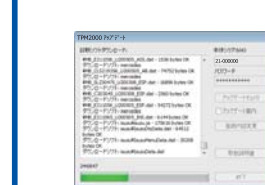
Step1

「TPM2000アップデート」の「アップデート実行」ボタンをクリックします。



Step2

アップデートサーバーに接続して最新のソフトをダウンロードしてSDカードに書き込みます。



Step3

「アップデート完了」メッセージが表示されましたら、アップデートが完了したことになります。接続を解除して車両の診断を行ってください。

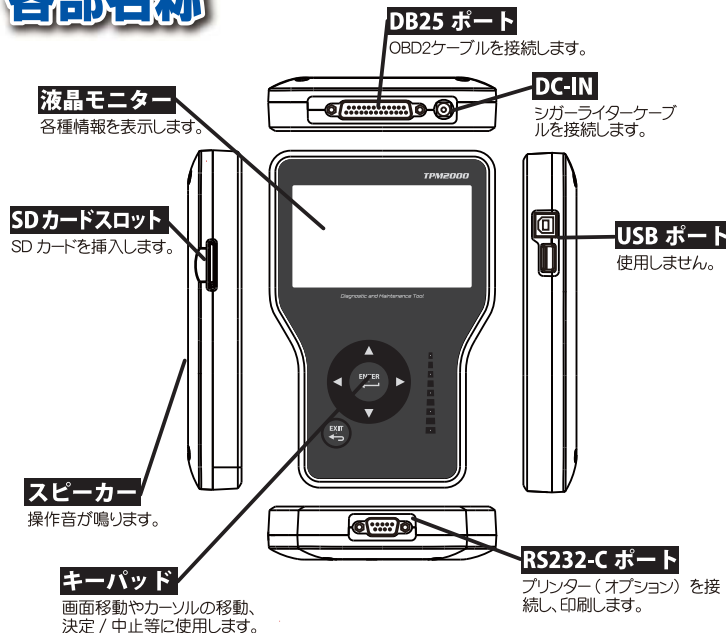


注意

アップデート用ソフトがダウンロード開始して「書き込みできません」のエラーが表示された場合はSDカードの「Lock」スイッチを確認してください。

TPM2000 クイックスタートガイド

各部名称

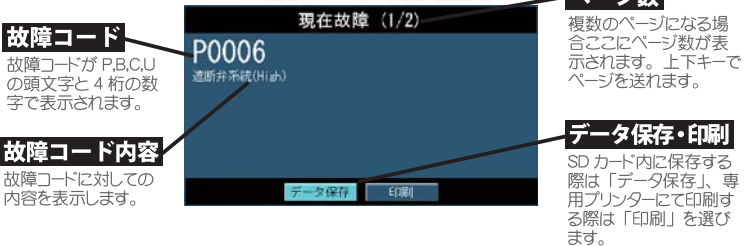


画面説明

全自己診断結果画面



故障コード表示画面

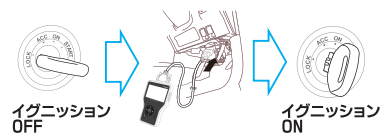


診断方法

診断を行う場合は以下の手順で操作してください。

Step1

車輛のイグニッションが**“OFF”**であることを確認します。TPM2000を診断コネクタに接続し、イグニッションを**“ON”**にします。



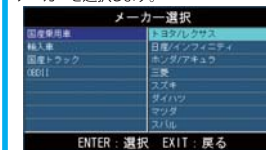
Step2

TPM2000に電源が入りメインメニューが表示されます。[診断]を選択して[ENTER]キーをタッチします。



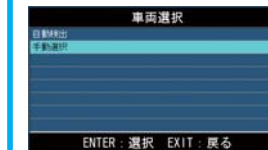
Step3

メーカー選択画面では国産、輸入車、国産トラック、OBDいずれかを選択すると右側にメーカー名が表示されますので、診断するメーカーを選択します。



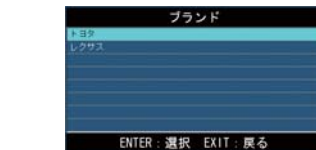
Step4

[車種選択]画面では「自動選択」または「手動選択」を選択して[ENTER]をタッチします。



Step5

[車種選択]画面では診断する車種を選択して[ENTER]をタッチします。この後、「ブランド」-「車名」-「車型」-「エンジン」-「装備選択」を選択します。



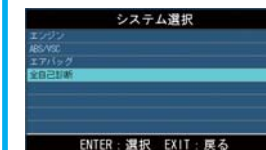
Step6

「メインメニュー」が表示されますので、作業する項目を選択して[ENTER]をタッチします。



Step7

診断する項目を選択して[ENTER]をタッチします。ここでは「全自己診断」を選択しています。



Step8

「全自己診断」は車輛に搭載されている全てのシステムを調べていきます。



注意 診断がうまくいかない場合はコネクターの接続やイグニッションスイッチが ON であるか確認してください。

診断結果の表示・印刷・保存・消去

車輛の診断を行い、結果が表示された後は以下になります。

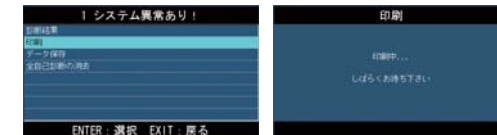
診断結果

診断結果は車輛に記録された故障コードの有無が表示されます。一覧で表示された後、選択して[Enter]キーをタッチする事で、一つずつ故障コードを表示することができます。



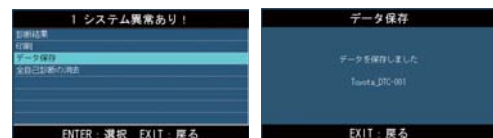
印刷

診断結果を印刷する場合は[印刷]にカーソルを合わせて[Enter]キーをタッチします。
※[Enter]キーをタッチする前にプリンターを接続し、電源を入れておいてください。



データ保存

診断結果を保存したい場合はカーソルを[データ保存]に合わせて[Enter]キーをタッチします。表示が変わり、「データを保存しました」のメッセージが表示されると、画面中央(例:Toyota_DTC-001)という名前で SD カードに保存します。



全自己診断の消去

自己診断の消去を行う場合は「全自己診断の消去」にカーソルを合わせて[Enter]キーをタッチします。TPM2000 が各ユニットの故障コードを消去していきます。消去が完了すると、一度全自己診断を行い、故障コードが消去されたことがわかります。
※故障コードの消去を実行しても故障が発生している場合は故障コードが表示されます。再度適切な修理後に消去を行ってください。



注意 診断を終了する場合は、「メーカー選択」画面までもどり、イグニッションスイッチを OFF にして TPM2000 を接続解除して下さい。